

令和6年度市町村提案事業採択状況

No	市町村名	事業名	事業主体	対象事業費 (円)	補助額 (円)	事業の概要		複数年 継続事業	事業評価
1	大河原町	白石川堤「一目千本桜」外国人観光誘客事業	大河原町	7,590,000	3,795,000	目的	大河原町で令和4年度及び令和5年度に実施した「白石川堤一目千本桜」の植樹100周年に係る記念・プロモーション事業を踏まえ、アフターコロナにおける夏、冬のインバウンドを中心とした誘客事業を実施し、さらなる知名度の向上及び通年観光化の実現を目的とする。		<p>本事業は、令和4年度及び令和5年度に市町村提案事業を活用して実施した「白石川堤一目千本桜」の植樹100周年事業の成果等を踏まえ、新たに外国人観光客をターゲットに加えるとともに、桜の開花以外の時期のイベントを実施することで通年の誘客促進を図る事業である。</p> <p>・植樹100周年に関連する過去2年間の事業において、町民の機運醸成や、全国的な注目が高まっており、本事業を実施することにより、アフターコロナにおけるさらなる誘客が期待できる点について、事業の有効性・効率性が認められる。</p> <p>・また、新型コロナウイルスの感染拡大による観光・地域経済への影響は深刻なものとなっており、通年での観光客の誘客促進が課題となっていることから、事業の必要性・緊急性が認められる。</p> <p>以上により、本事業は市町村提案事業の趣旨に合致した事業であるといえる。</p>
						内容	〇おおがわら夏まつり及び冬季リバーサイドガーデン事業を実施する。		
2	多賀城市	令和の万葉大茶会交流事業	多賀城市	5,000,000	2,500,000	目的	「万葉集」の編纂者「大伴家持」にクローズアップし、人生のステージごとに赴任地であった地域でリレー方式で開催される「万葉大茶会」が2020年より開催されており、令和6年に創建1300年を迎える多賀城市が開催地となることで、多賀城の歴史や文化について市内外に広く発信し、「多賀城」の認知度増加を図ることを目的とする。		<p>本事業は多賀城市が令和6年に多賀城創建1300年を迎えるに当たって、「万葉大茶会」を開催し、多賀城の歴史や文化を発信する事業である。</p> <p>・多賀城創建1300年を迎える令和6年に開催することで、効果的に多賀城の歴史・文化を発信し、また、市民にとっても、地域の歴史に触れ、愛着を育む機会となることから、必要性・緊急性が認められる。</p> <p>・また、多賀城市の歴史や文化の特色は市民にも関心があり、大茶会の実行委員会は市民と行政と一体となって開催することとしており、住民の意向を踏まえた事業であるといえる。</p> <p>以上により、本事業は市町村提案事業の趣旨に合致した事業であるといえる。</p>
						内容	〇令和万葉大茶会において、記念式典、ステージイベント、講演、交流会等を実施する。		
3	名取市	サイクルツーリズム事業	名取市	2,500,000	1,250,000	目的	名取市においてサイクルツーリズムの推進を行っており、これまでもサイクルルートの設定や受入環境の整備等を実施しているが、令和6年度については、これまでの取組を活かし、当市が提唱する「人力で旅する文化・観光の推進」を図るとともに、自転車での観光周遊の意識を市の文化として根付かせていくことを目的とする。		<p>本事業は、これまでの当市のサイクルツーリズムの取組を活かし、広域的な観光周遊イベントを実施することにより、観光施設同士の回遊性向上や観光周遊促進を目的とする事業である。</p> <p>・当市において、市町村提案事業を活用して実施した、令和3年度のサイクルコースの設定や受入環境整備、令和4年度の宿泊施設付きの自転車専用施設を活用した宿泊プランの作成等の取組を発展させ、令和6年度事業は、当市に留まらず近隣市町と連携した広域サイクルツーリズムを推進するものとなっており、継続的な事業の実施により、さらなるサイクルツーリズムの推進が期待できることから、有効性・効率性が認められる。</p> <p>・また、市民アンケートでは、サイクリストの誘客による賑わいづくりや観光施設の周遊による観光づくりへの関心が高くなっており、住民の意向や要望が反映された事業といえる。</p> <p>以上により、本事業は市町村提案事業の趣旨に合致した事業と認められる。</p>
						内容	〇市域を超えて設定されたサイクリングルートを活用し、広域での観光周遊事業を実施する。		

No	市町村名	事業名	事業主体	対象事業費 (円)	補助額 (円)	事業の概要		複数年 継続事業	事業評価
4	色麻町	介護・障害支援区分認定審査会のDX推進事業	色麻町	1,591,809	795,000	目的	加美郡の介護認定審査会及び障害支援区分認定審査会においては、高齢化が進む中、審査会での審査件数が増加傾向にあり、審査委員の負担が増加するだけでなく、住民の介護・障害支援サービスの利用時期の遅れにつながることから、本事業により、審査会のペーパーレス化システム及びオンライン会議を導入し、効率的な審査事務体制の構築及び短期間での権利認定の実現を目的とする。		<p>本事業は、介護認定、障害支援区分認定事務について、タブレットやペーパーレス化システムを活用して、住民サービスの効率化や審査委員の負担軽減を図ることを目的とした事業である。</p> <p>・高齢化により介護認定及び障害者支援区分認定の申請件数が増加傾向にあり、審査会1回あたりの審査件数が過大となる等、効率的な審査体制の構築が急務となっていることから、事業の必要性・緊急性が認められる。</p> <p>・また、県内では、書面形式または対面式での審査会が一般的であり、ペーパーレス化システムによる審査やオンラインによる意見交換などを実施している事例は少ないことから、先進性・モデル性が認められる。</p> <p>以上により、本事業は市町村提案事業の趣旨に合致した事業であるといえる。</p>
						内容	<p>【加美町との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各委員へのタブレット配付及びペーパーレス化システムの導入により、クラウド上で資料閲覧を可能とする。 ○各委員が事前に入力した判定について、システムを用いて自動集計し、その結果をもとに審査会で検討する。 ○オンラインと対面のハイブリット形式での会議の実施 ○タブレット端末の操作研修会の実施 		
5	加美町	介護・障害支援区分認定審査会のDX推進事業	加美町	4,513,911	2,256,000	目的	加美郡の介護認定審査会及び障害支援区分認定審査会においては、高齢化が進む中、審査会での審査件数が増加傾向にあり、審査委員の負担が増加するだけでなく、住民の介護・障害支援サービスの利用時期の遅れにつながることから、本事業により、審査会のペーパーレス化システム及びオンライン会議を導入し、効率的な審査事務体制の構築及び短期間での権利認定の実現を目的とする。		<p>本事業は、介護認定、障害支援区分認定事務について、タブレットやペーパーレス化システムを活用して、住民サービスの効率化や審査委員の負担軽減を図ることを目的とした事業である。</p> <p>・高齢化により介護認定及び障害者支援区分認定の申請件数が増加傾向にあり、審査会1回あたりの審査件数が過大となる等、効率的な審査体制の構築が急務となっていることから、事業の必要性・緊急性が認められる。</p> <p>・また、県内では、書面形式または対面式での審査会が一般的であり、ペーパーレス化システムによる審査やオンラインによる意見交換などを実施している事例は少ないことから、先進性・モデル性が認められる。</p> <p>以上により、本事業は市町村提案事業の趣旨に合致した事業であるといえる。</p>
						内容	<p>【色麻町との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各委員へのタブレット配付及びペーパーレス化システムの導入により、クラウド上で資料閲覧を可能とする。 ○各委員が事前に入力した判定について、システムを用いて自動集計し、その結果をもとに審査会で検討する。 ○オンラインと対面のハイブリット形式での会議の実施 ○タブレット端末の操作研修会の実施 		
6	角田市	かく大学構想推進事業(3年目)	角田市	2,000,450	1,000,000	目的	市内全体を大学のキャンパスに見立てた「かく大学」構想において、学びのコミュニティを形成し、大学のような講義やワークショップを通じてまちづくりで活躍する人材を発掘し、地域課題の解決や地域社会の活性化を図ることを目的とする。	○ (3年目)	
						内容	<p>【令和4年度～令和6年度の継続事業】</p> <p>令和6年度の事業内容は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○講座やワークショップ、説明会や発表会等、人材と地域等のマッチングに向けた事業展開を行う。 ○マッチングに向けた広告展開を行う。 ○ネットワーク形成のためのコーディネーターの養成を行う。 ○市民企画の事業推進を行う。 		
				23,196,170	11,596,000				